

赤坂だより



発行者
 東京都港区赤坂7-5-51
 富山県赤坂会館 支配人 平澤 慶太郎
 Tel 03-3586-0991 Fax 03-3584-6059
 URL : http://homepage3.nifty.com/akasakakaikan/

都心の中の静かなたずまい。 緑に囲まれた閑静な中に佇む富山県赤坂会館

近くには
 赤坂御所、生け花の殿堂草月会館
 高橋是清翁記念公園などがあります。

周辺にはTBSメディアビル、サントリー美術館
 豊川稲荷や、迎賓館、創業1500年代後期と言われる
 和菓子の老舗「とらや」
 そして世界の料理を楽しめる店が並ぶ
 田町、みすじ、一ツ木通りのにぎわいがあり
 また、少し足をのぼせば
 若者の街原宿やファッションのメッカ青山や表参道
 今話題の六本木ヒルズなどの周辺スポットにも
 手軽に出かけられ
 くつろぎと、旅の充足感を満喫させてくれます。



宿泊利用料金 (1名当り)

	1名	2名
◆シングル バス・トイレ付	7,476円	
◆ツイン	6,783円	4,704円
◆和室 6~12畳	6,783円	4,704円

★表示料金の中には税金5%、サービス料10%、冷暖房費が含まれております。
 ★富山県職員の料金は別途定めております。

東京へのご旅行には
 割引パックを
 ご利用いただけます。



JR往復交通費と 赤坂会館1泊朝食付きセット

- * 22,900円~34,800円
- * JR はくたか 上越新幹線利用
- * 4日前までにお申し込みください。
- * 列車が選べます
- * 1名様より出発OK

*お申込、詳しいお問い合わせは
 富山県庁生協旅行センター(富山県庁1F)
 電話 076-441-1152 FAX076-441-1153

全日空往復交通費と 赤坂会館1泊朝食付きセット

- * 21,500円~46,700円
- * ANA(全日空)ジェット利用
- * 10日前までにお申し込みください。
- * フライトスケジュールが選べます
- * 1名様より出発OK

*お申込、詳しいお問い合わせは
 ANAセールス&ツアーズ(株)富山支店
 電話 076-431-3322 FAX 076-431-3330

赤坂あれこれ 赤坂で3度住居を変えた勝海舟

赤坂も児童数が減って、3校あった小学校が一つに統合され、廃校になった旧氷川小学校跡に老人ホーム建設のため、文化財の発掘調査が行われた。
 ここは、元「勝海舟と勝安芳の屋敷跡」、その関連の出土品が見つかり、勝海舟の人なりがしのぼれた。

一旧氷川小学校の勝邸は、明治新政府の役人になってから—
 この地に勝が転居したのは、新政府の海軍大輔に任官した明治5年のことである。

勝は新政府の中でも反主流、明治8年在野の人となる。それ以降、幕府旗本、士族の救済のため事業を興し奔走、出土品の中からレンガ会社で焼いたレンガが出土、それにははっきり「士族就産所東洋組西尾分局」と刻印されている。

一蘭学を勉強蘭学塾を開いた赤坂田町時代—
 幕末の天保13年、勝は蘭学を学ぶため、赤坂溜池の黒田藩(現在赤坂2丁目、衆議院宿舎あたり)のお雇い蘭学者永井青崖のもとに通うこととなった。この時、通うのに便利な赤坂田町のあばら屋に本所から引っ越したのである。蘭学を勉強中に西洋式砲術や製法を独習した。後に、ここで私塾「水解塾」を開き、多くの弟子に蘭学を教える一方、外国船が渡来する時代となり、諸藩から鉄砲や大砲の製作、砲台の設計が勝に相次ぐようになった。アメリカのペリー提督が大統領の親書を携えて浦賀にやって来た。この時「海防についての意見書」を提出し、幕府重職に認められ、幕府に登用される。安政2年である。

一幕府海軍の指導者、開国論を唱えた時代は赤坂元氷川下(今の赤坂6丁目)の時代—
 安政5年、勝は築地の軍艦操練所の頭取に就任した。この時に、氷川神社下の赤坂元氷川下の元旗本の屋敷に転居する。幕末の難局を乗り切り、江戸の無血開城を行い、駿府に慶喜と一緒に移るまで住むことになる。



赤坂タウン誌より掲載

勝邸全体図

ごあいさつ

富山県商工労働部立地通商課長 下村 修



新年おめでとうございます。
 「赤坂だより」第2号の発行に寄せて、ごあいさつ申し上げます。

富山県赤坂会館の所管が平成15年4月に管財課から立地通商課に移ったことをご存知ない方が案外多いのではないのでしょうか。

これは、財団法人富山県赤坂会館が平成15年3月末に解散し、立地通商課が所管する財団法人富山会館に管理運営が委託されたことによるものです。

ところで、富山県赤坂会館の年間宿泊者数は、平成3年度の20,976人をピークに減少傾向にありましたが、県職員利用のバック料金の設定や営業活動などにより、最近になって、利用者が増加する兆しが見られるようになりました。

特に、本年度上期の利用者数は、6,568人で昨年同期を1,023人、18.5%の増加となっており、大変喜ばしい傾向と受けとめております。

ご存知のとおり、富山県赤坂会館は、県職員の東京宿泊所として設置されている関係で、県職員の利用を優先していますが、県民をはじめ、一般の方のご利用も可能となっています。

また、宿泊に限らず、富山の味を気軽に味わっていただける場として、出張のみならず、友人や家族などの会食や宴会にもご利用いただけます。

今後とも、県職員やご家族の皆様方をはじめ、県民の皆様の上京の折には、お気軽にご利用いただけますよう、真心のこもったサービスの充実はもとより、JRパックやANAパックの充実などにも努めてまいりますのでよろしくお祈りいたします。

都心にあっても楽しめる富山の味



写真は冬の会席料理のコースです。

先付け 白梅貝味噌煮
 先付け かぶら寿司
 お造り 水見寒鯛
 鍋 鱈しゃぶ鍋
 焼き物 鱈塩焼
 蒸し物 鯛大根
 揚げ物 白海老天婦羅
 酔食物 紅箱蟹
 お食事 巻茶飯
 御 荒汁
 水菓子 季節のフルーツ

御 献立

こちらは冬のメニューの一例となっております。仕入れの都合により内容が変わりますので、詳しくは、係のものにお問い合わせくださいませ。

雪 5,775円 月 6,930円 花 8,085円 (税金5%、サービス料10%が含まれております)

その他ご予算に応じて調整させていただきます。

季節の微妙な移り変わりを愛で、その恵みを味わう。富山には、四季の楽しみがあります。選りすぐった旬の素材、伝統的な調理技法、そして斬新な発想の懐石料理を、赤坂ならではの洗練さと家庭的なおもてなしを心がけております。

春は、3月からのホテルイカの酢味噌、日本海の珍味シロエビ刺身、夏は庄川、神通川の鮎の塩焼きや、自身のキスや太刀魚など、

秋は新湊産の紅ズワイ蟹、冬は魚の王様、寒ブリなどバラエティに富んだ、豊富な味覚をお楽しみいただけます。

左上の点線で切り離しお持ちいただければ、宿泊利用のお客様に限り、コーヒーをサービスさせていただきます。
提供時間午前7:30～午前9:00

赤坂だより

そうだ、東京にいこう... おばあちゃんのお宿 巣鴨



魚屋、八百屋、畳屋、漢方薬屋、呉服屋、味噌屋...。ひと昔前には、どの商店街にも見られた商売だが、最近の東京ではあまり見かけなくなった。そんな昔ながらの商売が今も息づいている商店街が「とげぬき地蔵」で知られる巣鴨地蔵通り商店街。

昭和60年に、その場所を取材したY新聞の記者が、集客力や賑わいに受けた感銘を記事の中でこう表現したのです。

「ここは、おばあちゃんのお宿だ...」

以来この場所は「おばあちゃんのお宿」とみんなから呼ばれています。それが、あの有名な...という形容詞をつけても不思議ではない「巣鴨地蔵通り商店街」でした。

昔懐かしい商店街

商店街を歩くと感じるのは「香り」と「声」...。焼き鳥の焦げる匂い、パンの焼ける香りが漂う。匂いに引かれてその方向に目をやると、店のおばさんが「いらっしやい」と威勢のよい声をかけてくる。こんな昔ながらの光景がこの商店街にはあります。

とげぬき地蔵尊では、毎月4、14、24日に縁日が開かれ、約4万人

(休日と重なるとその倍)の人手でにぎわう。商店街は歩行者天国となり、200を超える露店がところ狭くと並ぶ。

品物を買うだけなら、デパートやスーパーがある。ここ巣鴨で買い物を通してお店の人の明るい声や笑顔を見ていると、地道通り商店街の昔懐かしいあの雰囲気求めて訪れる人は、今後も後を絶たないと感じた。



「洗い観音」病気や痛いところを洗うと、効き目があるといわれ、縁日には長蛇の列です。以前の洗い観音はたわしで洗っていましたが、あまりにも多くの方が洗ったため、磨滅し、現在は後ろの厨子に納められています。現在は2代目で白い布で洗うようになりました。

「とげぬき地蔵尊」の名で親しまれるこのお寺は正式には曹洞宗萬頂山高岩寺といわれ、慶長元年(1596年)に江戸湯島に開かれ60年後下谷上車坂町に移り巣鴨には明治24年(1891年)に移転しました。



東京都内 美術館案内 2005年冬

- ◆東京都美術館
「ミュシャ展 プラハからパリへ 華麗なるアール・ヌーヴォーの誕生」
1月27日～3月27日
- ◆東京国立博物館
「唐招提寺展 国宝鑑真和上像と盧舎那仏」
1月12日～3月6日
- ◆国立科学博物館
「翡翠展 東洋の至宝」
～2月13日
- ◆ちひろ美術館
「虹の軌道 ちひろの色彩」
～1月30日
- ◆下町風俗資料館
「喜劇王 榎本健一生誕 100年記念 エノケンと浅草の笑い」
～1月30日
- ◆江戸東京博物館
「大(oh!)水木しげる展」
～1月10日
「フランスの至宝 エミール・ガレ展」
1月22日～4月3日
- ◆東京都現代美術館
「MOT アニュアル2005 愛と孤独 そして笑い展」
1月15日～3月21日
- ◆東京国際フォーラム
「人体の不思議展」
～1月16日
- ◆六本木ヒルズ 森美術館
「アーキラボ 建築・都市・アートの新実験展1950-2005」
- ◆根津美術館
「華やかなうつわ -伊万里・柿右衛門・鍋島-展」
1月8日～2月3日
- ◆NISAミュージアム
「煌めきのガラス絵 本田安彦の世界展」～1月23日
- ◆東京大学総合研究博物館
「Systema naturae 標本を語る展」～5月8日
- ◆資生堂ギャラリー
「Life/art'04展」
～1月30日
- ◆相田みつを美術館
「開館8周年・新美術館1周年 特別企画展 後期」
～1月16日



会館を利用して

日本ERI株式会社 取締役 **大塚 和彦**

富山県と縁もゆかりも無い日本ERIが富山県赤坂会館を利用したのは、会社設立後、間もない平成12年の秋の、会議室の利用が最初でした。静かで落ち着いた雰囲気でのよい会議ができました。

その折にフロントの方より懇切丁寧に設備・料金等の説明を受け、それからは、会社から歩いて5分の地の利もあり、社員研修時の宿泊場所に、新入社員の歓迎会に、お世話になった方へのお礼のご招待の場所にと、富山県赤坂会館の機能をフルに活用させていただいております。

春の蛍烏賊、冬の寒ブリなど、また珍味なシロエビや深海魚など、東京ではなかなか口に出来ない新鮮な富山の食材が満載の郷土料理には、四季を問わずに、いつも大満足しています。また、富山の銘酒「立山」「満寿泉」、そして食後にいただく富山の名水「立山」にも感激です。

これからも大いにあらゆる場面で利用させていただきます。

スタッフ紹介

調理長 **朝野 清二**



昭和23年生まれ 血液型 A
富山市出身
平成16年4月1日より勤務
前職は公立学校共済組合立山保養所
「立山高原ホテル」調理長
着任以来、試行錯誤の毎日です。
お客様に十分満足していただくのは大変難しいことですが、日々努力の気持ちを持って取り組んでまいりたいと思っております。
皆様のご指導を、何卒宜しくお願いいたします。

羽田空港よりのアクセス

- 羽田空港⇒浜松町
東京モノレール 22分 470円
- 浜松町⇒大門
徒歩 4分
- 大門⇒青山一丁目
都営大江戸線 9分 210円
- 青山一丁目(4番出口)
⇒富山県赤坂会館 0.6^キ。8分
乗り換え等含めて約1時間10分程

東京駅よりのアクセス

- 東京駅⇒赤坂見附
東京メトロ丸の内線 8分 乗換
- 赤坂見附⇒青山一丁目
東京メトロ銀座線 2分計 160円
- 青山一丁目(4番出口)
⇒富山県赤坂会館 0.6^キ。8分
乗り換え等含めて約30分程

交通のご案内



・最寄りの地下鉄駅からの時間
<「青山一丁目駅」から徒歩約10分、「赤坂見附駅」から徒歩約15分>
・タクシーの順路
<赤坂見附方面からは、通称「青山通り」を「コロンビア通り」へ入り「ドイツ文化会館」前降車>

あとがき

明けましておめでとうございます。

昨年はまさに災害や激動の年でした。

海外ではアテネオリンピックの開催、アメリカ大統領選挙でブッシュ氏が再選、イラク紛争や原油の高騰、国内では記録づくめの台風被害、そして記憶に新しい新潟県中越地震災害などがあり、これには私たちも、日頃から良く利用している上越新幹線が不通となり不便さを嫌というほど味わいました。災害地の皆様には、まだ不自由な生活を送っておられることと思いますが、一日も早い、復旧を願ってやみません。

当会館にとっても今年是非常に厳しい年になると予想されますが、職員一同サービスの原点に戻った精神で頑張っていく所存でございます。

なにとぞ、皆様のご支援ご指導をよろしく願い申し上げます。 元旦や上々吉の浅黄空 一茶